

募 集 要 項

氏 名：森口 文博	研究室：第 4 研究室棟 4K301
専 攻 分 野：経営戦略・アントレプレナーシップ	
演習テーマ：アントレプレナーシップの経営学	E-mail：f.moriguchi@cc.kyoto-su.ac.jp

(ゼミの紹介)

- ▶ 2024 年度開設のゼミですので、**第 2 期生の受け入れ**となります。ゼミでは、経営学の知識・道具の「獲得（インプット）」と「活用（アウトプット）」の両方を重要視し、活動を行う予定です。
- ▶ 経営学の基礎的な内容とアントレプレナーシップ論・経営戦略論をベースに、ゼミ生の関心に応じて詳細なテーマを決める予定です。演習で取り扱う対象はスタートアップ、ベンチャー企業をメインとしますが、中小企業も含め広くカバーする予定です。
- ▶ これらのテーマに関する知識を習得するとともに、自分の力で考え、説明・説得できる力を磨くことを目標とします。さらには、様々な経験や他者との交流を積み重ねることによって、習得した知識を応用・活用できる「ストリートスマート」と呼ばれる人材にふさわしい能力の獲得を目指します。
- ▶ 自ら課題をみつけ、解決・提案までを行う能力の養成も合わせて行います。連携できる企業を見つけられた場合は、その企業の事例研究を行い、PBL（Project Based Learning）による課題解決に向けた戦略提案を行うことも想定しています。

(演習内容・主なテキスト)

- ▶ 加護野忠男・吉村典久（2021）『新しいビジネスをつくる』碩学舎
- ▶ 吉田満梨・中村龍太（2023）『エフェクチュエーション～優れた起業家が実践する「5つの原則」～』ダイヤモンド社
- ▶ 清水洋（2022）『アントレプレナーシップ』有斐閣
- ▶ 現時点では上記を扱う予定をしていますが、ゼミ生と相談しながら、選書します。
- ▶ ライトなものからアカデミックなものまで、扱います。

(演習1・2)

【経営戦略・アントレプレナーシップに関する書籍の輪読】

- ▶ 上記のテキストをメインに輪読をします。毎回当番となった方が発表し、テーマを決めてディスカッションすることを通じて、経営戦略やアントレプレナーシップに関する基礎的な知識を習得します。
- ▶ プレゼンテーションの経験を通じて、「分かりやすく」「ロジカルで」「説得力のある」効果的なプレゼンの手法についても学びます。

【ゲストスピーカーからの学び】

- ▶ アントレプレナーシップや経営戦略を実践する実務家をゼミに招きます。
- ▶ ゲストスピーカーとの対話を通じて、自身のアントレプレナーシップを養成します。
- ▶ また、キャリア開発の専門家も招聘し、自身のキャリアを考える機会を設けます。

【他大学との合同ゼミ】

- ▶ 他大学と合同ゼミを実施します。2024 年度は龍谷大学とホーム&アウェーで経営学に

関するテーマを中心に、ディスカッション・ディベートによる交流を予定しています。
※2025 年度も龍谷大学に加え、もう 1 or 2 大学が加わる予定です。

【課題発見・解決のための戦略提案(企業との連携も)】

- ▶ 自ら課題をみつけ、解決・提案までを行う PBL (Project Based Learning) による演習活動をチームで行います。企業と連携した課題解決に向けた活動も予定しています。
- ▶ 取り組む課題は、ゼミ生の皆さんのやりたいこと（自主性）を尊重します。

(演習 3・4)

【演習1・2の活動継続】

- ▶ 演習 1・2 で実践してきたことを継続し、学部生としての能力・スキルのさらなるレベルアップを図ります。これらの活動をバランスよく反復することで、知識をインプット・アウトプットすることによる自身の成長が習慣づけられます。

※ 輪読する書籍はゼミ生と相談しながら、選書します。

【経営学の研究方法の習得】

- ▶ 経営学における研究方法を一通り学びます。そのうえで、経営戦略論やアントレプレナーシップに関するテーマを設定し、チームで調査した内容をまとめて、ゼミ内で発表・報告をし、ゼミ生に共有をいただきます。
- ▶ また、卒業研究に向けたアカデミックライティングの方法についても、基礎的な理解を深めていきます。

(演習1～4共通[ゼミ生の希望に応じて不定期で実施])

【推しの「企業家」調査(大阪企業家ミュージアムの見学を通じて)】

- ▶ 日本を代表する企業家の功績を見学し、現代にも通ずる普遍的な『アントレプレナーシップ』について学びます。ミュージアムに展示されている企業家をメインとして、ゼミ生の皆さんの“推しの企業家”を調査し、まとめていただいた内容を発表していただきます。

【推しの「企業」調査(ケースレポートの作成)】

- ▶ ゼミ生の皆さんに”推し”の企業をチョイスいただき、その企業のビジネスモデルや競争優位性について調べ、発表いただきます。調査にあたり、企業情報の基本的な調べ方についても学びます。

(演習 5・6)

【卒業研究】

- ▶ 経営学における個々の関心事項からテーマを選定し、卒業研究に取り組んでもらいます。自身の立てた問い（リサーチクエスション）を明らかにするための調査・分析を独力で進めていただく予定をしており、教員は、ゼミ生が自分の力で論文を書き上げるための助言と指導を行います。

【その他】

- ▶ ゼミ生の希望をヒアリングしながら、実施する内容を決定します。

(教員からの要望)

- ▶ 森口ゼミの 2 期生として、ゼミの方向性や形を一緒に作り、盛り上げてくれる学生のエントリーをお待ちしています。
- ▶ ゼミ参加に際して、事前にテキストを読む、発表資料を作成する（輪番制）などの

準備と主体的に学ぼうとする姿勢を重要視します。※むしろそれがない（＝受け身の姿勢で参加する）と、ゼミ活動での収穫は少ないと考えています。

- ▶ 個人ワーク・グループワークをバランスよく取り入れ、ゼミ生が相互に協力しながら学びを深めていただくことを期待しています。
- ▶ 将来どうしようか迷っている人も、森口ゼミで「経営戦略論」「アントレプレナーシップ」をテーマに「ストリートスマートな人材」になるチャレンジをしてみませんか？

（履修希望科目）

- ▶ 経営学入門などの科目を受講している方が望ましいですが、必須ではありません。
- ▶ ゼミに配属されたら、経営戦略論・ベンチャービジネス論・アントレプレナーシップ関連の科目を受講していただくことで、ゼミでの学びも深まると思います。

（教員の自己紹介）

- ▶ 大卒後、政府系の銀行に9年勤務した後に、大学の職員に転職し、知的財産管理や産学連携の仕事に7年従事した後に、大学の教員となりました。
- ▶ 和歌山県の九度山町（真田幸村が幽閉された町・高野山のふもと）出身です。
- ▶ 10才（小4）と2才の二児の父です。
- ▶ 趣味はスポーツ観戦（特に高校野球好き）とYOUTUBEの鑑賞です。